

国際海事機関(IMO) 第3回船舶設備小委員会(SSE 3)開催概要

【日時】平成28年3月14日～3月18日

【場所】英国ロンドンIMO本部

【委員会のタスク】

救命・消防・荷役設備等の船上設備の設置要件及び性能要件について検討を行う

【今次会合の主な議題】

- 船上クレーンに関する基準策定(別紙参照)
- 救命艇の事故防止手段に関するガイドライン要件の強制化
- SOLAS条約附属書及び関連規定にある非常脱出経路の表示及び機器設置位置表示要件の改正

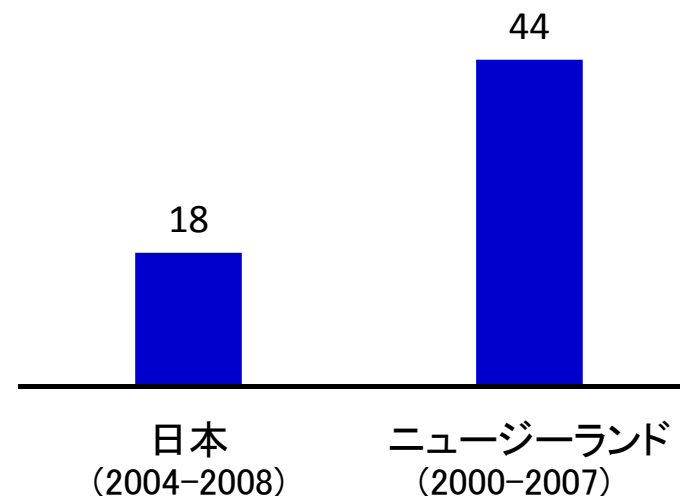
別紙：船上クレーンに関する基準策定

背景：船上クレーンに起因する事故が多発



船上クレーン

(写真は運輸安全委員会ダイジェスト第3号より)



クレーンの不具合に起因する事故件数

船舶の安全基準を定めたSOLAS条約では**船上クレーンに関する基準がない**
 ※国内法では、船舶安全法で技術基準は策定されており、日本籍船はカバーされている。

➡ 我が国に寄港する外国籍船について、**適切な監督が実施できない。**

日本はIMOにおいて、ニュージーランド等と2011年に船上クレーンに関する安全対策検討の提案を行い、今回小委員会ではWG^(注1)議長を務め安全対策の議論を積極的に主導。

(注1)WG：ワーキンググループ。小委員会で議題の詳細を議論するグループ

➡ 我が国をコーディネーターとするCG^(注2)を設置し、安全対策の選択肢を検討し、次回小委員会に報告する。

(注2)CG：コレスポンドンスグループ。会合と会合の間にメール等を活用して検討を行うグループ